

# 名東今昔パネルリスト 1

## 1 展示にあたって


**展示にあたって**

日頃から名東区政の推進にご協力いただきありがとうございます。さて、名東区はこれまで若いまちと言われてきましたが、いま、まちとして成熟の時代を迎えつつあります。名東区は交通の利便性も高く、市内屈指の良好な住宅地であり、自然環境にも恵まれていることから「住んでみたいまち、住みやすいまち」との評価を得ています。この恵まれた特性を、どうか、つなげていくのか、それがこれからの大きな課題であると思います。

そのために、まずは私たちのまちがどのように変わってきたのかを知っておくことが大切なのではないか。このような思いのもと、今回の展示を行うことといたしました。




皆さんお一人おひとりの名東区を思い出しながら、お楽しみいただければ、嬉しく思います。

また、今後も引き続き、このようなパネルを作成してまいりたいと考えております。是非、写真提供のご協力をお願いいたします。



昭和45年頃 地下鉄の駅通  
一上り駅前から東を望む  
写真提供 篠原小次郎

## 2 デッチョ池北岸

写真提供 加藤光治  
撮影場所は、54年前のデッチョ池北岸を南側から。  
デッチョ池周辺は、昭和30年に名古屋市長により施行された猪苗山土地区画整理事業により整備されました。  
区画整理後、池北岸には多くのマンションなどが建設され、閑静な住宅地と変わりりましたが、池上には現在も同じ異様な台が残っています。  
また、写真手前（神戸公園内側）に植樹された木々が成長して、現在、同アングルでは池が見えなくなっています。  
↑現在の撮影場所付近  
↑現在の撮影場所付近

昭和32年

西山学区

## 3 名東本通から北を望む その1





写真提供 加藤光治  
撮影場所は、神戸中学校北側から名東本通を挟み高間町方面。  
高針街道の高針橋以西に位置する丘陵地帯であり、撮影当時は道路網の整備とそれに合わせて徐々に建ち始めた民家などが疎らに建ち並んでいましたが、現在では通り沿いには店舗・事務所が、一歩足を踏み入れれば住宅街というまち並みもなっています。  
写真（上段）の左手にある小高い緑地がもう一枚のパネル写真の中央にある緑地です。  
↑現在の撮影場所付近  
↑現在の撮影場所付近

昭和38年

名東・西山学区

## 4 名東本通から北を望む その2





写真提供 加藤光治  
撮影場所は、名東学区／西山学区（高間町方面）  
ダイエー1・メイ1の南の三叉路（名東本通5丁目交差点）から高間町方面、高針街道の高針橋以西に位置する丘陵地帯です。  
こちらの写真は、農耕地帯に点在する葉落を穿したような雲の隙の薄う、曇りな風景が写し出されています。  
写真（上段）の中央にある緑地が、もう一枚のパネル（名東本通から北を望む その1）の左手にある小高い緑地です。  
↑現在の撮影場所付近  
↑現在の撮影場所付近

昭和38年

名東・西山学区

5 西山商店街郵便局付近



**西山商店街郵便局付近**  
昭和39年・西山学区  
撮影場所は、47年前の「西山本通」交差点を西側から、現在もある郵便局と隣にある4階建てのビル以外は街路樹も植えられて間もない開発中の地域であることが見受けられます。また、中段の写真が撮影された昭和32年当時は、道路の整備が始まったばかりで、建物も無く、僅かに山腹（＝真中央奥）に小さな建物があることが見て取れます。

昭和39年

西山学区

6 西山小学校



**西山小学校**  
昭和39年・西山学区  
撮影場所は、50年程前の西山小学校を西から周りに民家もまだ少なく、学校敷地をほぼ全て見渡すことができます。現在、同じアングルからは、周りに建物が密集し、校舎の屋上付近が僅かに見える程度となっています。

昭和39年

西山学区

7 西山商店街

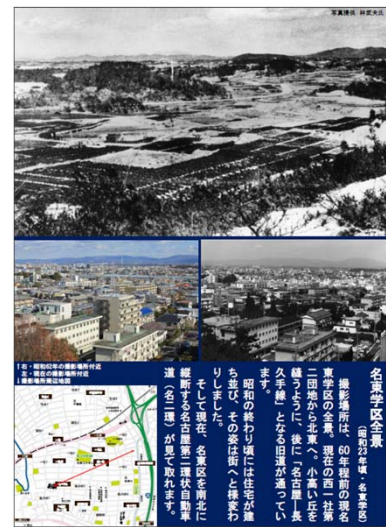


**西山商店街**  
昭和59～60年頃  
撮影場所は西山商店街、西山本通から西へ、アケビの字は昔はありましたが、商店街中央です。その代わりには昔ながらの店が並び、手すりやネットより高層ビルやマンションが数軒は増え、新たな風景となっています。

昭和59～60年頃

西山学区

8 名東学区全景

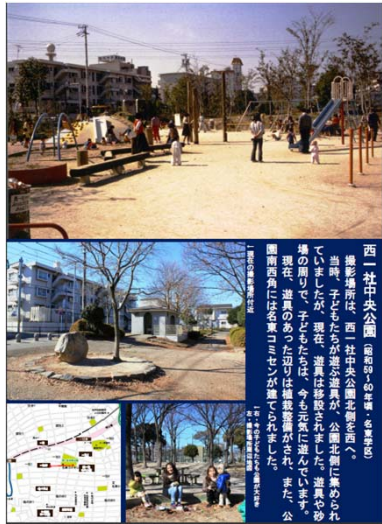


**名東学区全景**  
昭和23年頃  
撮影場所は、50年程前の現在の西山学区の北東、八小の北東部、久保山（＝名東学区）の南東部、久保山（＝名東学区）の南東部、昭和の終わりには住宅が密集して、交差点へは車が走り、そして現在、全学区を南北に貫く名東線（東武東上線）が完成し、交通が便利になりました。

昭和23年頃

名東学区

9 西一社中央公園



西一社中央公園（昭和59年、名東学区）  
 撮影場所は、西一社中央公園を西へ、  
 撮影したときがまだ公園が完成して  
 いない様子が見え、今よりも木々や  
 草の少ない状態であったことが分  
 かります。また公園の一角に  
 西一社中央公園の石碑が建  
 立されています。

昭和59～60年頃

名東学区

10 一社駅東、旧道へ



一社駅東、旧道へ（昭和54年、名東学区）  
 撮影場所は、名古屋一社駅東、一社駅東の旧道  
 への入口。  
 旧道特有の短い距離でくねくねと曲がる様子は、  
 現在も変わりありませんが、当時よく見られた店  
 先の「ニル」の大きな日本酒や小売店がなくなりな  
 くなっていることが、時の移ろいが感じられます。  
 写真提供 加藤誠己氏

昭和54～55年頃

名東学区

11 旧道 - 神蔵寺南にて

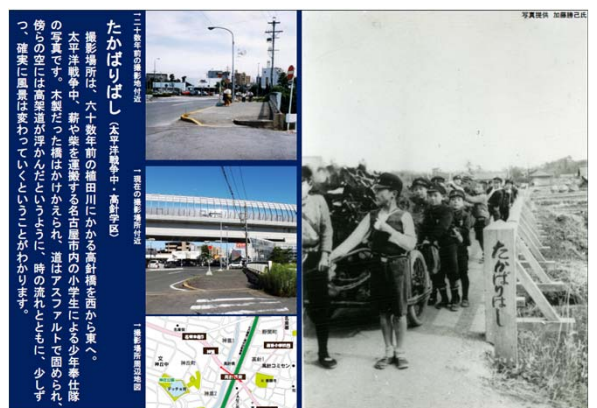


旧道 - 神蔵寺南にて（昭和30年代後半、名東学区）  
 撮影場所は、約五十年前、神蔵寺  
 南から東、西一社の土地区画整理事  
 業を始めた頃の旧道の写真です。  
 西一社で事業が始まった昭和30年  
 代後半は、まだ区画整理事業につ  
 いて社会的に十分な理解がされておら  
 ず、銀行に融資を拒まれたため、区  
 画整理組合の発足の志を担った農  
 協から地味を貸して、事業運営にあ  
 てたそうです。  
 この区画整理により地下鉄東山線  
 や一社駅前の用地が解放され、地下  
 鉄開通の大きな力添えとなりました。  
 写真提供 天野中氏

昭和30年代後半

名東学区

12 たかばりばし



たかばりばし（太平洋戦争中、高針学区）  
 撮影場所は、六十数年前の橋田川にかかる高針橋を西から東へ、  
 太平洋戦争中、薪や炭を運搬する名高市内の小学生による少年奉仕隊  
 の写真です。本橋だった橋はかけえられ、道はアスファルトで固められ  
 傍らの空には高層ビルが立ち並ぶように、時の流れとともに、少し  
 つ、確実に風景は変わっていくことがわかります。  
 写真提供 加藤誠己氏

太平洋戦争中

高針学区

13 高針街道 (中馬街道)



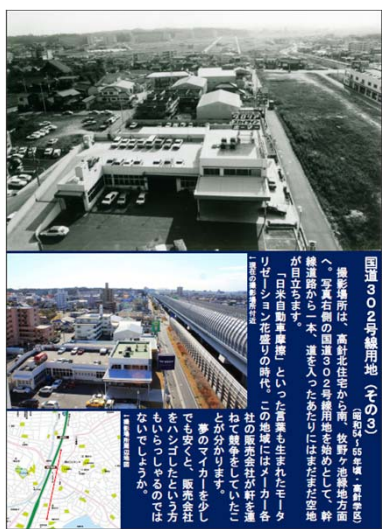
年代不明 (太平洋戦争前) 高針学区

14 東勝寺付近



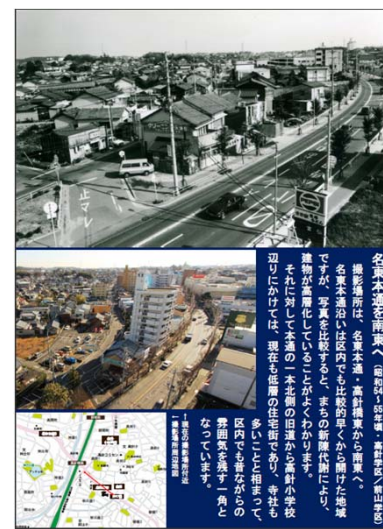
太平洋戦争中 高針学区

15 国道302号線用地 (その3)



昭和54~55年頃 高針学区

16 名東本通を南東へ



昭和54~55年頃 高針・前山学区

17 国道302号線用地 (その1)



昭和54年

名東・高針  
 ・貴船学区

18 猪高小学校遠景



昭和40年頃

猪高学区

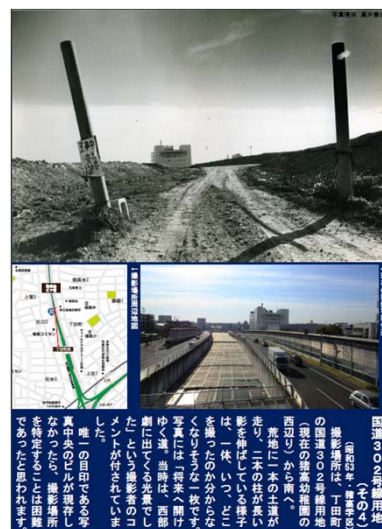
19 旧猪高村役場跡



年代不明

猪高学区

20 国道302号線用地 (その4)



昭和53年

猪高学区